



tamura

taro

田村 太郎

ダイバーシティ研究所

代表理事

兵庫県生まれ。ベルリンの壁崩壊に刺激を受け、高校卒業後アジア・欧州・アフリカ・南米などを放浪。阪神・淡路大震災で外国人

支援や復興まちづくりに携わり、NPOの世界へ。その後長年にわたって多文化共生や災害対応、

ダイバーシティ推進の分野を中心にさまざまな組織やプロジェクトを立ち上げると共に、社会起業家を目指す若者のためのビジネスプランコンペ「edge」を通じた担い手の育成、企業の社会貢献活動のコーディネーターや自治体との協働による課題解決のしくみづくりなど、数多くの事業を手がける。東日本大震災直後には内閣官房企画官として震災ボランティア施策を担当。現在も復興庁・復興推進参与として官民連携による東北復興に注力する。神戸での活動には、被災地の復興の様子を歩いて訪ねるチャリティイベント「こうべあいウォーク」や、病気とたたかう子どもと家族のための滞在施設「チャイルド・ケモ・ハウス」等がある。大阪大学大学院客員准教授、明治大学大学院兼任講師。共著に「阪神大震災と外国人」「多文化共生キーワード事典」「好きなまちで仕事を創る」「つないで支える。災害への新たな取り組み」など。